令和２年度

転入女性が暮らしやすい
福島づくりプロジェクト
活動報告書

一般社団法人 tenten

（ベルフォンテ）

転入女性が暮らしやすい福島を目指して

転入女性が暮らしやすい福島づくりプロジェクトを始めて、今年度が節目の3年目。
これまでの活動の中で、多くの転入女性にイベントに参加していただきました。
その都度、参加者の笑顔を見たり、参加してよかったという話を聞く中で、このプロジェクトのニーズを実感してきました。
転入女性をサポートするプロジェクトをとにかくやってみたいという強い思いで動いてきたのですが、ニーズに確信が持てるようになった今、次の目標は、プロジェクトを継続すること。これまで活動を支えてもらった補助金や助成金は3年が限度のものが多く、4年目以降継続するためには、自走に向けて、活動をもっといろんな方に知ってもらい、認めてもらい、サポーターを増やしていくことが必要になります。

そのために、今年度の年度初めに、3つの目標を立てました。
一つ目は、「地域にとってもwin-winと感じるプロジェクトにすること」。
転入女性のニーズに応えるプロジェクトであると同時に、地域にとってもメリットを生み出す活動にしたい。転入女性が地域とつながり、地域に溶け込むことで、地域の活性化につながり地域に好循環を生み出します。
二つ目は、「転入女性コミュニティの規模を大きくし、コミュニティの力をつけること」。
コミュニティを大きくすることで、コミュニティ内部の動きが活発化することに加え、県内外から転入してきた女性から意見を集約することや、移住転入者向けの情報をピンポイントに届けることが容易になります。
三つ目は、「組織基盤を強化するために法人化をすること」。
法人化することで責任も増えますが、活動を継続するためには対外的に信頼度を高め、組織として取り組んでいくことが必要です。

この3つを念頭に置き、コロナ禍でも工夫しながらできることを継続して行った結果、コミュニティ所属の人数は1.5倍の400人超になりました。
令和２年10月8日に一般社団法人化も行いました。
具体的な取り組みはこの報告書にまとめましたので、ぜひご一読いただけると幸いです。
ページを開くたびに見える転入女性たちの笑顔。
この笑顔あふれる暮らしやすい福島を今後も作っていきたいです。

令和3年4月
一般社団法人　tenten
代表理事　藤本菜月

目　次

あいさつ、目次
プロジェクトについて …… 1
まちとつながる旅in福島市 …… 2～4
まちとつながる旅in福島市（参加者の声、地域の方の声） …… 5
tenten cafe（福島市、郡山市、会津若松市、会津美里町）・tenten社会科見学 …… 6～7
クラウドソーシングセミナー・受託業務 …… 8
その他の活動 …… 9

転入女性が暮らしやすい福島づくりプロジェクトとは…

福島県に転入する女性は毎年約 25,000 人。福島県の調査によると、転入の理由は、転勤や結婚が 45% を占めています。そのような転入女性の中には「外部との関わりを持ちにくく孤独を抱えている」「仲間がいないために口コミ的な情報を聞ける相手がおらず地域の生活情報を入手にくい」「キャリアをリセットして転入したことで、特に転勤族の場合やお子さんが未就学児の場合、定職に就くことが難しく社会とのつながりを持ちにくい」というネガティブな状況に置かれている方が多く見られます。そのような転入女性を対象として、

①仲間や地域とつながるキッカケづくり
②よそ者視点、豊富な職歴やスキルといった転入女性の特徴を生かした仕事づくり
③暮らしの情報発信

を行うプロジェクトです。不安や孤独で孤立しがちな転入女性が、仲間、情報、地域、社会と繋がり、暮らしやすくいきいきと楽しく福島で生活できる環境を作ることを目指しています。それはひいては定住する女性が増えること、またいずれ福島から転出した後でも、福島のファンであり続け、福島との繋がりを持つ関係人口が増えることに繋がっていくと考えています。

事業概要

令和2年度　プロジェクトの沿革

令和2年5月29日	tenten cafe@オンライン
令和2年7月20日	tenten cafe@福島市①
令和２年９月９日	tenten cafe@福島市②（ママ会）
令和2年10月15日	tenten cafe@会津若松市①
令和2年10月24日	tenten cafe@福島市③（大人会）
令和2年11月4日	tenten cafe@会津若松市②
令和2年11月5日	tenten cafe@会津美里町
令和2年11月12日	tenten cafe@郡山市①
令和2年11月18日	まちとつながる旅1日目（オンライン顔合わせ）
令和2年11月19日	tenten cafe@福島市④
令和2年11月25日	まちとつながる旅2日目（県庁通り商店街街歩きツアー）
令和2年12月2日	まちとつながる旅3日目（ふりかえり&ワークショップ）
令和2年12月10日	tenten cafe@郡山市②
令和2年12月17日	コトハナサロン@浪江町（ゲスト参加） ※いわき・双葉の子育て応援コミュニティcotohana主催ゲスト参加
令和3年1月14日	tenten cafe@福島市⑤（ママ会）
令和3年2月26日	クラウドソーシングセミナー①
令和3年2月27日	クラウドソーシングセミナー②
令和３年３月９日	tenten cafe@福島市⑥（社会科見学）

2020移住転入女性のための「まちとつながる旅in福島市」
～福島で福島をもっと楽しもう！～

まちづくりにも力を入れ、個性的な商店が集まる県庁通り商店街界わいを移住・転入女性同士交流を深めながら巡りました。新しい取り組みをしているお店や歴史ある教会で話を聞き、街中の楽しみ方を知ってもらうまち歩きツアーは事前説明会、当日イベント、フォローアップワークショップと3週連続同じメンバーでの活動で仲間づくりのきっかけにもなりました。

01 顔合わせ&事前説明会（11月18日）

初回はZOOMを使用して、まずはオンラインで顔合わせを行いました。
自己紹介をしながら「みんなに教えたい地元の美味しいもの」も話して会話を弾ませました。

02 まちとつながる旅（11月25日）

1週間後のまちとつながる旅当日。集合時間より早めに参加者が集まり、楽しみにしてくださっていたことが伝わってきました。オンラインですでに顔見知りになっていたため、軽い自己紹介だけですぐに打ち解けました。

①OPTICAL YABUUCHI（オプティカルヤブウチ）

まずは眼鏡屋の「OPTICAL YABUUCHI（オプティカルヤブウチ）」へ。
店主の藪内義久さんからお店についてだけでなく、県庁通り商店街の歴史やまちづくりについてもお話しいただきました。今ではこんなに個性的でおしゃれなお店が入っている「ニューヤブウチビル」ですが、以前は雀荘などの入った雑居ビルだったと聞き驚きました。お話を伺ったあとは、こだわりの眼鏡や雑貨を見させていただきました。素敵な眼鏡や雑貨を見ながら会話も弾んでいました。

②Total Plants bloom（ブルーム）

ハーバリウムやリースなどもあり、プレゼントにいいね！と盛り上がりました。

2店舗目は同じニューヤブウチビル2階の花屋さん
「Total Plants bloom（ブルーム）」へ訪問。
花屋さんが2階にあるのは珍しく、参加者からは、お店に入るなりおしゃれ！素敵！！と歓声が上がっていました。店主の芳賀敏泰さんからお店についてなどお話を聞いて、店内を見学。

3階へ

食堂ヒトトスタッフのお2人も県外から移住してきた同じ転入女性と知り、一気に親近感が湧きました。

食堂ヒトトの隣りにある「OOMACHI GARALLEY」へ。展示期間中ではなかったのですが、見学させていただきました。

③PICK-UP&BarnS

ニューヤブウチビルから移動し、30年以上続く洋服屋
「PICK-UP&BarnS」へ。店主の高橋省吾さんからお話を伺いました。

お店にあるもの
どれもおしゃれで、
つい真剣に物色中。

高橋さんは震災後、自分たちの街を自分たちでもっときれいにしたい！街にもっと緑を増やしたい！と日曜日の朝に「フクハナ」という活動も継続的にされています。お花を植えたり手入れするだけではなく、ワークショップも年に数回企画されているそうです。

④福島聖ステパノ教会

続いての訪問先は「福島聖ステパノ教会」です。司祭の渡部拓さんより教会の歴史や建物についてお話をいただきました。
この建物は約115年前に建てられ、現在も当時とほぼ変わらない状態だそう。歴史ある建物と教会の神聖な雰囲気にちょっとタイムスリップをしてしまったような気分になりました。

⑤Books&Cafeコトウ

店主の小島雄次さんが
外に出て私たちの到着を待ち、
出迎えてくれました。

このお店を始めたキッカケや本のこと、最近たくさん扱っているこけしのお話を伺いました。店内見学ではお店で使われているコーヒーカップについて、小島さんと話が盛り上がる参加者もいました。趣味が刺激されたそうです！2階のカフェスペースにも案内してもらいました。

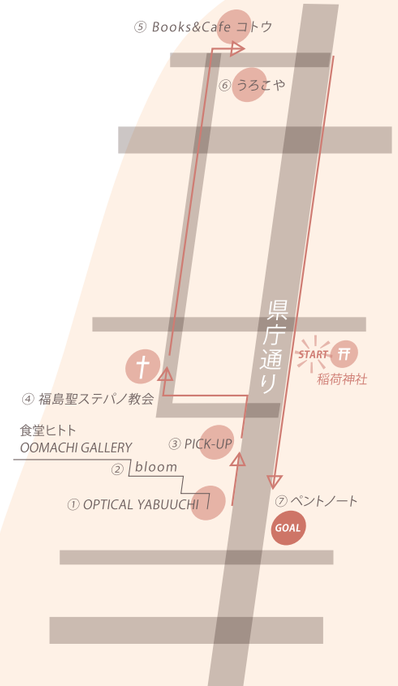
⑥うろこや

甘納豆専門店の「うろこや」では店主の川口慎一さんよりお話を伺いました。ずっと釜焚き甘納豆を作ってこの界わいを見守ってきた川口さん。甘納豆の作り方などお教えいただいたり、まだまだいろいろなお話を聞きたいと思いました。

川口さんのご厚意でいただいた甘納豆のお土産。
嬉しくて参加者一同興味津々です！

⑦ベントノート

最後に訪れたのはおしゃれな文房具屋とカフェが併設されている「ベントノート」。経営している「文化堂」の尾形澄江さんから「ベントノート」で取り扱っている文具の話や、1階にある総菜屋「TARACO(タラコ)」とカフェバー「EACHDAY(イーチデイ)」についてもご紹介いただきました。



03 仲間とつながる交流会で感想をシェア（12月2日）

まち歩きから1週間経った12月2日、最後に訪れた「ベントノート」に再び集まっていただきました。
まずはフリーカメラマンの古関真奈美さんに撮影していただいたまち歩きの写真を見ながら感想を話し合いました。
その後は大玉村の稲を使ったミニしめ縄リース作りのワークショップで参加者同士の交流を更に深めました。

「お土産でもらった甘納豆に感動！美味しくて子どもに内緒で大人だけで食べた。」
「この1週間の間にうろこやに2度も行った！」
「一人でゆっくり歩いてみたくて、回ったお店をもう一度訪れて買い物したりランチしたりお茶したりした。」
「娘を連れてきたらかわいい文具に喜んでいた。」
「女性同士でおしゃべりしながらまちを歩いて、お店でこれかわいい！と言い合う時間が久しぶりで楽しかった。」
「長く住んでいて自分の行動パターンが決まってしまっていました。まち歩きで新しい発見があった！」
「このあたりのことは知っていると思っていたのに知らないお店もあって視野が広がった」　などなどたくさんのご感想をいただきました。
そもそもここに商店街があることも知らなかった！という方もいたので、皆さんに県庁通り商店街を紹介することができてよかったと感じました。

Workshop

anemos　長澤友美子さん

ワークショップ講師フラワーアーティストanemosの長澤友美子さんによる「福島の稲を使ったミニしめ縄リース作り」を行いました。今回は大玉村の稲を使用。福島のお米っておいしいよね！どこのが好き？という話もしながら手を動かす皆さん。
同じ材料を配っていても付ける位置や、しめ縄の角度で全く違うものになるため、時折真剣な表情になり作業されていました。おしゃべりしながらもの作りをするって楽しいですよね！時間があっという間に経ってしまいました。参加者皆さんの個性が光る、世界に一つだけのしめ縄リースが出来上がりました。

それぞれが作ったしめ縄リースを持って集合写真

オンラインを含めて3回同じ顔触れで開催したため、いつの間にか皆さん仲良くなっていて、解散した後にランチに行ったりされていたのが主催者として嬉しい限りです。今回参加して街の見方が変わった！応援したくなったし、自分にも何かできないかなと思った！というお話も出ました。 これからもきっと参加者のみなさんとこのまちはつながり続けていきますね。
参加してくださった転入女性の皆さん、ありがとうございました！そして私たち転入女性を温かく迎え入れてくださった県庁通り商店街や各所の皆様、またこの「まちとつながる旅in福島市」を開催するにあたりご協力いただいた皆様、無事開催できたことに心から感謝いたします。ありがとうございました。

参加者の声

福島亜衣子さん

引越してきて4ヶ月で参加しました。商店街がある事も知らなかったので街歩きはとても新鮮でした。
お店に入って見るだけでなく、それぞれお店の事、こだわりや取り組みなども聞けて良かったです。
他の参加者の方とも話しながら巡って楽しく充実した日を過ごせました。街歩きを通して行動範囲が広がり、何度かお店に行く事によって親しみある通りになりました。
しめ縄作りも福島の稲を使っていて貴重な体験ができ、嬉しかったです。
企画してくださったtentenのスタッフの皆さんに感謝してます。

田辺　梢さん

気になるけど一人で入るのは少し勇気がいる、そんなお店にみんなで行ける！なんて素敵な企画なんだろうという思いから参加してみました。実際に皆さんとまち歩きをして、新しいお店を知る事ができたり、商店街の方々の思いを聞く事ができ、とても充実した楽しい時間を過ごすことができました。
参加後は、今まで素通りしてきたお店も身近に思えたり、以前とまちの見え方も変わってきたように思います。今はまだ一人で行けなくても、いつでも行ける場所があるという安心感も生まれました。
tentenとの出会いは、これまでの転入先では味わえなかった"暮らしを楽しむ"ということを気づかせてくれました。

吉村　彩さん

コロナ禍真っ只中の転勤後、ほとんどの時間を家で過ごしていました。福島に引っ越してきたという実感がないまま半年が過ぎてしまいましたが、「まちとつながる旅in福島市」に参加して、魅力的なお店を巡りながら同じような境遇の方たちと話すことができ、やっと福島の街に愛着を感じられるようになりました。
同年代の女性たちがtentenの活動を通して活躍していることも知り、自分もいつか社会の役に立ちたいという思いを新たにしました。良い刺激を与えて下さったtentenの皆さんに感謝しています。

平中夏紀さん

私にとって買い物をするわけでもなく、はじめてのお店に入るのはかなり勇気がいることです。今回街歩きでいろいろ紹介していただいたことで、知らない場所がステップアップして馴染みの場所になりました。歩きながら町やお店の情報を教えてもらえる機会はツアーに参加しないとできない体験でした。次からは常連気分で誰か遊びに来た時に連れて行きたいと思います。また、お店の人がみなさん暖かく迎えて下さったのは大変嬉しく、改めて福島市民の一員になれたような気がしました。素敵なツアーを企画して下さってありがとうございます！

安齋　由さん

今回街歩きに参加させて頂きたくさんの発見がありました。この通りは、私もおしゃれな所がたくさんあるなあと感じ何度か訪れたことはありましたが、物を購入したり、食事をしたりすることはあっても、お店の方と話したり、お店ができるまでのエピソードを聞くなんてことはなかったので、とても新鮮でした。話を聞き、お店の方が、自分の店だけでなく街全体についても考えていることや、お店同士の横のつながりを感じました。そして、私はとても素敵な街に暮らしているんだと嬉しく思いました。今回の旅で、エネルギー溢れる素敵な方々と出会え、福島の違う顔をみることができました。またこのような企画で、福島の再発見したいです。

中島明日香さん

福島で子育てをするママたちの助けになれば良いなとtentenに入り、おそらくスタッフ以外で一番出席率の高いメンバーではないかと思われます。まちとつながる旅では視点の変わる経験を得ることができました。今までイチ住民として、"過ごしやすい街、子育て環境に恵まれている街"と、その恩恵を得るだけの傍観者のような立場だったのですが、この街をもっと良くしていきたいと行動する街づくりの当事者の視点を得ることができ、自分もそちら側の人間になりたいと思うきっかけになりました。自分の住む街を盛り上げたいという想いは生まれ育った地元に対しても抱いたことがありませんでした。きっかけを作ってくれた今回の旅に感謝です。

地域の方の声

OPTICAL YABUUCHI　藪内義久さん

先日は沢山の方々にご来店とお話を聞いて頂きありがとうございました。感じたことはやはりこちら側も、転入されてくる方々に有益で楽しい情報をお伝え出来る準備と、繋げれる人を知っておくことが重要だと感じました。
また、他の人を紹介してそこから紹介してもらえるようなハブのような存在のお店が沢山あることが町の魅力になり、転入してこられる方へもとても重要なものだと感じました。そして自分たちも転入されてこられる方から学ぶこともたくさんあると思いますので、是非これからもより良い街の為に沢山ご意見いただければと思います。自分たちも楽しい街にするために、来てよかったと思っていただけるように頑張りたいと思います。ありがとうございました。

Books&Cafeコトウ　小島雄次さん

福島市にいくつもある"地域に根付いた店"は、買い物をするだけの場所ではなく、人が集まり、情報も集まります。そうした店と繋がることは、その町を知る第一歩になりますし、お気に入りの店を見つけることは日々の生活を豊かにしてくれるはずです。良い店は、きっと、"刺激"と"癒し"どちらも兼ね備えています。
ただ、個人店舗の扉を開けることは、思いのほか勇気がいるらしいのです。初めての店なら尚更のこと。「まちとつながる旅」は、重い扉を開けることを、そっと後押しする企画だったと思います。参加者の皆さんは、店への興味と敬意を持っていただいていたと感じました。気持ち良い時間でした。どうか、皆さんがお気に入りの店を見つけ、日々の生活に彩りが加わりますように。